

20歳に贈る “あいさつ”で心を開こう

NHKアナウンサー 鈴木健二氏

◆“あいさつ人間”のすすめ

あなたは毎朝、家族の一人一人に“おはよう”のあいさつができますか。20歳になられた希望あふれる若い人たちに、ぜひとも申しあげたいのは、とにかく“あいさつ人間”になってほしいということです。



あいさつの挨拶は「開く」、挨拶は「迫る」という意味です。心を開いて相手に迫っていくのが、あいさつなのです。しかし、日本人は、特に親子の間であいさつがありません。家庭ではあいさつしないお父さんも、会社では「おはよう」を言っているのです。どうも日本人には、利害関係であいさつの是非を決めてしまう妙な性質があるように思えてなりません。

♥21世紀に向けて“心を開こう”

ところで、あなたたちが社会の第一線で活躍するには、21世紀になってからです。21世紀に入ってまもなく、世界の人口は70億人を超えるでしょう。そのためには、23億haの農地が必要となります。しかし、この地球にはいくら努力しても16億haの農地しか確保できないのです。地球が食糧危機、エネルギー難に見舞われることは必至です。しかし、こうした状況の中で20世紀の終わりには日本人の所得が世界のナンバーワンになる可能性があります。つまり、あなたたちは、世界で最も豊かな国を動かすことになるのです。

ところが、お金だけあって心を開き合わない日本人が、世界中から金にまかせて食糧やエネルギーを買いあさったらどうなるでしょ

うか。中学や高校の時の社会科の教科書に、ユネスコ憲章が載っていたのを覚えていますか、そこには「戦争は人の心の中から起こる」という意味のことが書いてあったはずですよ。

人の心——政治や経済、外交の問題ではなくて、他人と容易に心を開き合わない、つまり「閉じた心」が戦争の引き金を引くとしたら……これは、次代を担うあなたたち一人一人が真剣に考えなければならない問題です。21世紀になって、あわてて心を開こうと思っても、もう遅い、いま青春の真ただ中にいる、あなたたちの柔軟な精神の中にこそ、だれとでもあいさつをする心が育っていくのです。

◆心を開ける若者への変身の日とにかく“あいさつ人間”になってください。家族ともだれとも、「おはよう」を明るい声で言える人間になることです。それは、あなた自身の人生を楽しくするだけでなく、周りの人の心も明るくするのです。

さあ20代の出発の日——あいさつのできる、心を開ける若者への変身の日にしてください。

してほしいと思います。それから女性の適性に合った働ける場所もつとあればいいですね。
佐藤・仕事に関しては、男性だって大変なわけで。でも女性は結婚して安住の地を得るということができないのだから(笑)
木村・これからの女性は、いろんなケースがあるんでしょうけど、結婚しても仕事をつづけるという人が増えると思います。
◆結婚については
佐々木・まったくありません。相手もあることだし(笑)
森・経済的に安定してからと思いきや……何歳になってももらえないだろう(笑)

◆二十歳になって決意した事は安達・心の広い人間になりたいと思っています。前は、ちよつとしたことでもすぐカーツとなつてこれじやいけない、もつと寛大な気持ちで人と接しなければ、と。
佐々木・僕は、若いうちにしかたきないこともたくさんあるのだから、やりたいことをやって楽しく



佐藤くん

安達・一応、二十五歳くらいは人並みじゃないかと。でも三十歳になつても結婚はしたい。(笑)



長内さん

という、かなり楽天的です。(笑)
木村・自分の殻に閉じ込もつて世間を狭く生きるような生き方はしたくないので、できるだけ多くの人と接して成長したい、素敵な大人になりたいと思います。
長内・私も同じで、向上心をつまでも持ちつづけたい。それから、ずっと大人の人間たちには、私たちが偏見や先入観で判断せず、長い目で見てほしいと思います。

はたちの献血



佐藤・そのためには、自分たちも相手のことを理解しようと努めなければならないと思います。責任をもって、他人に迷惑をかけずにがんばりたいというのが決意です。
編集の都合により、座談会の内容の一部を割愛させていただきます。ご了承ください。

夏休み、親子でどうぞ！ 少年自然の家の キャンプ村

「県立大館少年自然の家」では、この夏休み、ご家族で楽しいテント生活を体験してもらおうと、キャンプ村を無料開放します。どうぞご利用ください。

開放日・①7月23日～24日
②8月6日～7日
③8月20日～21日
④8月27日～28日

なお、小中学生の夏休み期間中の平日利用をご希望の方は、電話でお問い合わせください。
申込・利用日の一週間前までに住所、保護者名、電話番号、利用月日、人員、食事希望か自炊か、寝装利用可否と数量、テント数を少年自然の家までご連絡ください。

経費・食事代(夕食500円、朝食300円、昼食300円)

洗濯代(寝袋一人分120円)

※テントは設置しており、一張定員五名で、一家族二張までお貸しします。



自然に親しむチャンス